



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNoはブランドラベルに表示しています。

■取付けされる方へのお願い

▲警告 …組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- ステータ取付けねじは障子の落下防止の為に下記事項をお守りください。
- ・ステータ取付けねじは $2.5 \pm 0.5N$ { $25 \pm 5kgf \cdot m$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

▲注意

- 本製品は、製品重量が約10kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・必ず $45 \times 100mm$ 以上の窓台(敷居)・ $30mm$ 厚以上の間柱(ピッチ $500mm$ 以下)で開口部を作ってください。
 - ・指定のスクリーナ釘で枠を固定してください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
 - 防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・ねじ部からの水の浸入を防ぐため、ねじ穴部はシリコン系コーキング材(別売り)で必ずシーリング処理してからねじを取付けてください。
 - ・アタッチメント-額縁の取合せ部には、必ずコーキング材でシーリングしてください。
 - ・シーリング処理をするときは、必ず空気が入らないようにコーキング材を充てんしてください。

■取付け上のお願

- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

■サッシ枠の フレ・ツツミ	■サッシ枠 対角差	■サッシ上下枠の 内反り・外反り	■サッシ枠の ねじれ	■サッシ枠の 室内外の反り																								
<table border="1"> <tr><td>L2-L1</td><td>A</td></tr> <tr><td>3</td><td>1.5</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>L1-L2</td><td>B</td></tr> <tr><td>3</td><td>1.5</td></tr> </table>	L2-L1	A	3	1.5	L1-L2	B	3	1.5	<table border="1"> <tr><td>C</td></tr> <tr><td>2</td></tr> </table>	C	2	<table border="1"> <tr><td>L1-L2</td><td>D</td></tr> <tr><td>3</td><td>2</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>L2-L1</td><td>E</td></tr> <tr><td>3</td><td>1.5</td></tr> </table>	L1-L2	D	3	2	L2-L1	E	3	1.5	<table border="1"> <tr><td>F</td></tr> <tr><td>2</td></tr> </table>	F	2	<table border="1"> <tr><td>H1</td><td>H2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	H1	H2	1	1
L2-L1	A																											
3	1.5																											
L1-L2	B																											
3	1.5																											
C																												
2																												
L1-L2	D																											
3	2																											
L2-L1	E																											
3	1.5																											
F																												
2																												
H1	H2																											
1	1																											

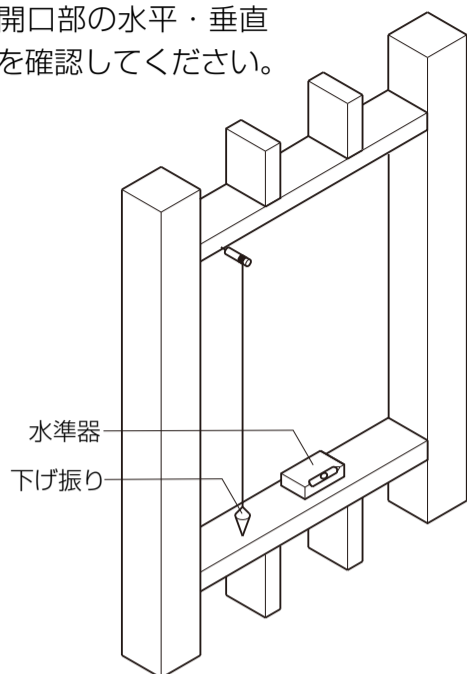
■取付け部品・ねじ一覧表

額縁取付け	枠取付け	木スペーサー			
イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
スクリーナ釘φ2.1×32	皿木ねじφ3.8×56	60×14.5	60×24.5	60×19	共通 105×3
枠取付け	アタッチメント取付け	額縁-躯体			

■取付け手順

1 開口部の作成

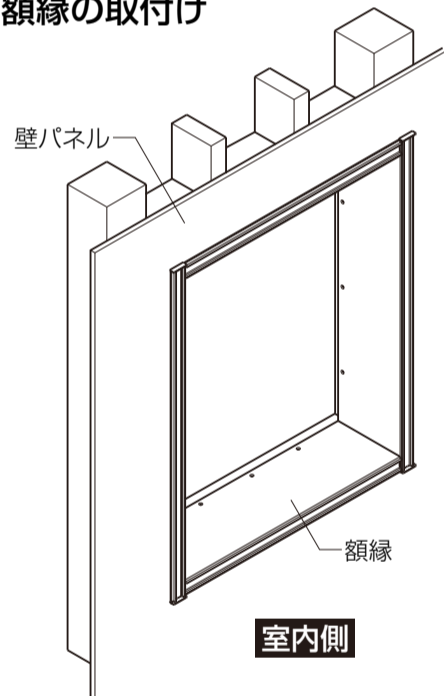
※開口部の水平・垂直を確認してください。



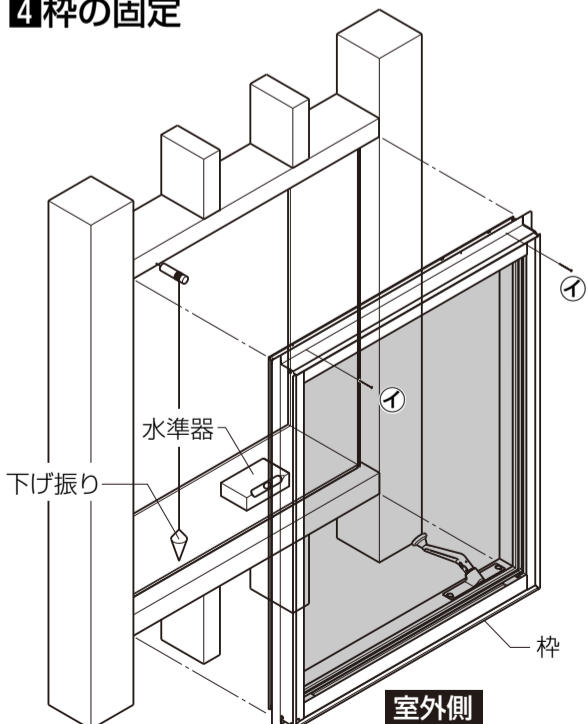
2 額縁の組立て

※額縁セットに同梱されている施工説明書に従って、組立てを行ってください。

3 額縁の取付け



4 枠の固定



■取付け詳細

1 開口部の作成

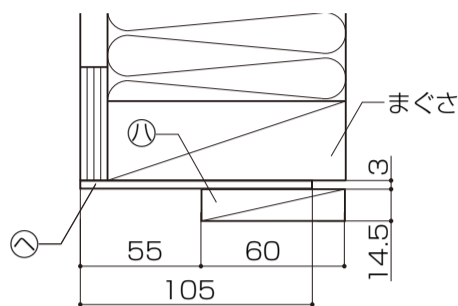
【開口部の補強】

●開口部を下図のように、同梱の①木スペーサー (60×14.5)と②木スペーサー (60×24.5)と③木スペーサー (60×19)と④木スペーサー (共通)(105×3)で釘又は接着剤等にて固定し補強してください。

※木スペーサー (共通)は開口部とサッシ枠、額縁とのチリに合わせて使用して下さい。

※木片は本体に同梱されています。

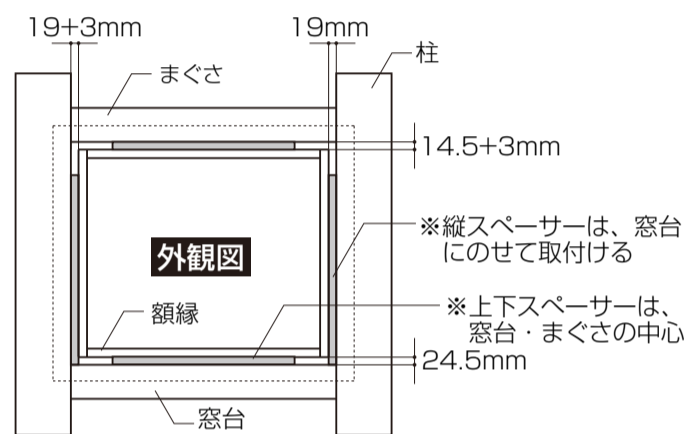
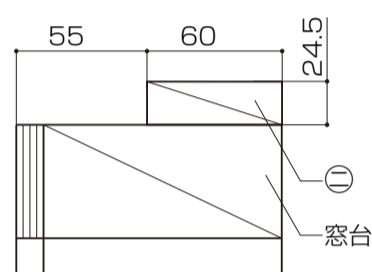
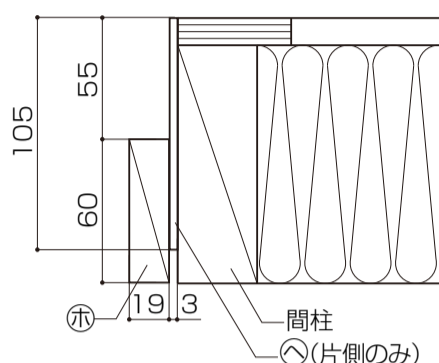
●縦断面図



室外側

室内側

●横断面図



※縦スペーサーは、窓台にのせて取付ける

※上下スペーサーは、窓台・まぐさの中心に24.5mm

2 額縁の組立て

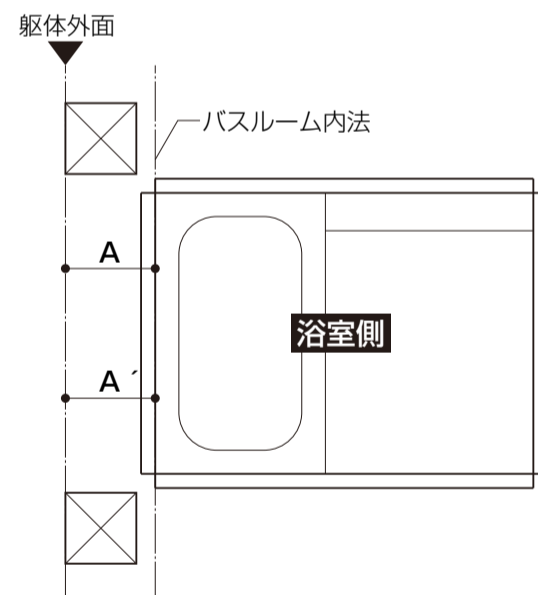
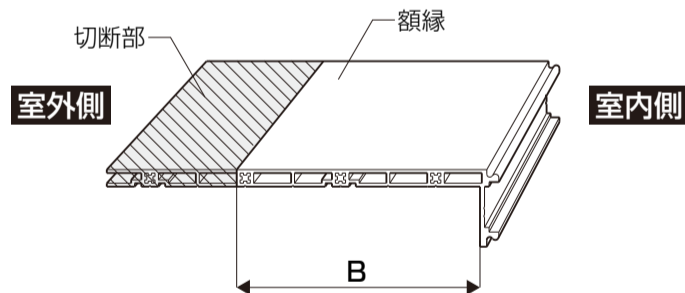
①額縁の切断

●右図に示すA、A'寸法を測定します。

A、A'寸法=躯体外面~バスルーム内法

B=A (A') - 55

②額縁セットに同梱されている施工説明書に従って、組立てを行ってください。



3 額縁の取付け

①額縁セットに同梱されている施工説明書に従って、取付けを行ってください。

4 枠の固定

【サッシ枠の固定】

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

▲注意

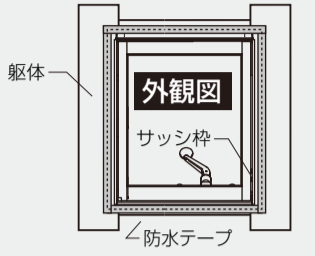
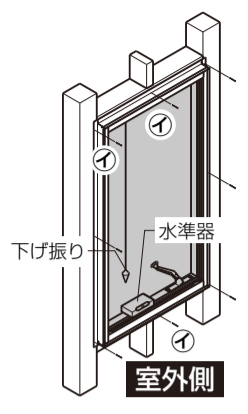
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。漏水の原因になるおそれがあります。

お願い

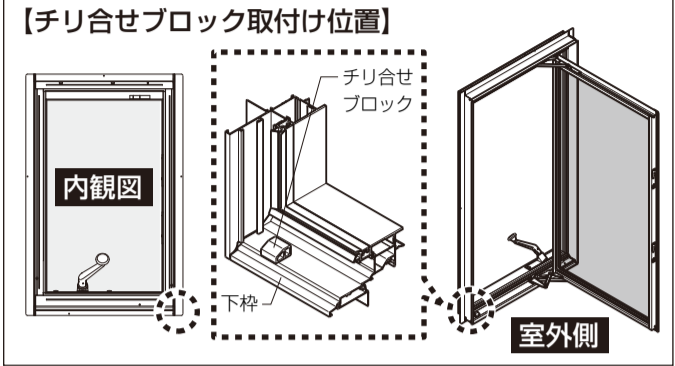
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

▲注意

●本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

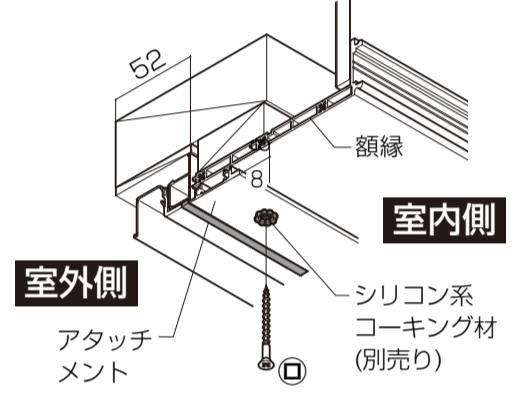
■チリ合せブロックについて
 ※縦すべり出し窓に付いているチリ合せブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。
 ※施工完了後は、必ずチリ合せブロックを取外してください。(窓の開閉に支障が出ます。)



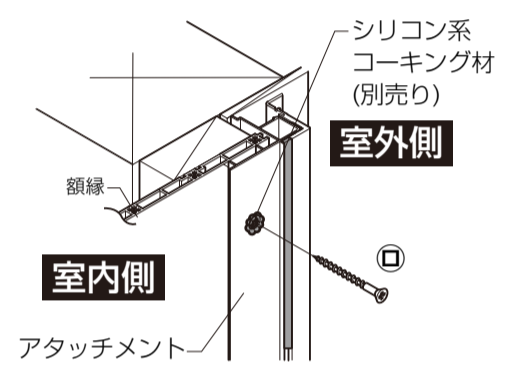
【アタッチメントの取付け】

●額縁を切断し組立てた後、額縁を室内側から差込み、アタッチメントと額縁を躯体に固定します。
 ※額縁と躯体のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、ねじ穴部にシリコン系コーキング材(別売り)を塗布し、㊸皿木ねじで締付けます。

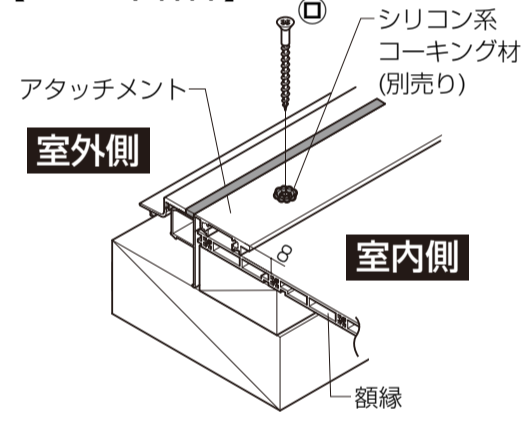
【サッシ上枠部】



【サッシ縦枠部】



【サッシ下枠部】

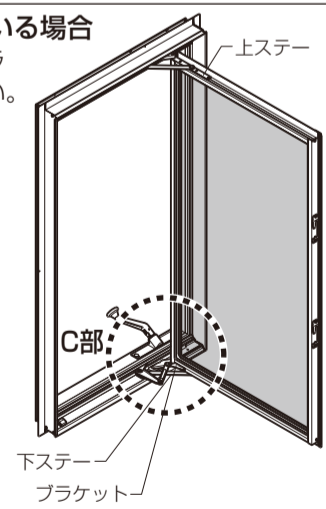


▲注意

●ねじ部からの水の浸入を防ぐため、ねじ穴部はシリコン系コーキング材(別売り)で必ずシーリング処理してからねじを取付けてください。漏水の原因になるおそれがあります。

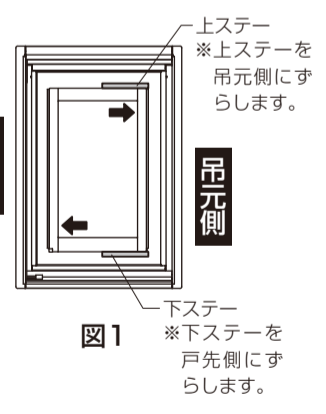
■障子の建付け調整

■障子の戸先が下がっている場合
 上・下ステーと下棧のブラケットで調整してください。



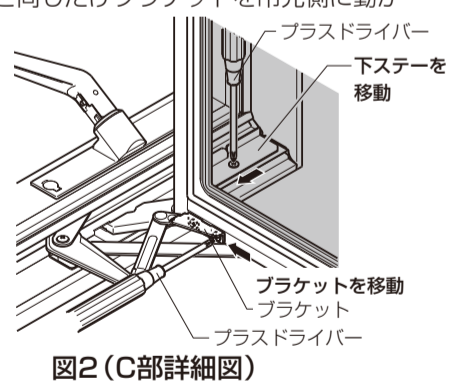
●上下ステーの調整

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、図1のようにステーの位置を調整してください。
 ※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

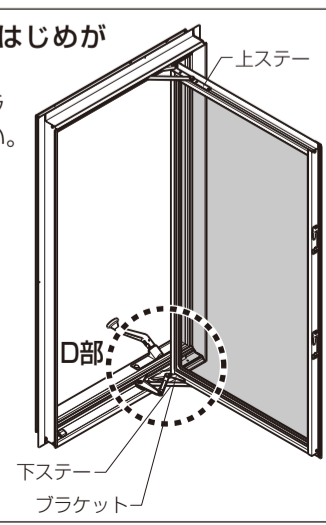


●ブラケットの調整

※下のステーの位置を調整したら必ず、図2のようにブラケットの調整をしてください。
 下ステーを移動したのと同じだけブラケットを吊元側に動かしてください。(下ステーの位置を調整しない場合は、ブラケットの調整も不要です)
 (ブラケットは出荷時は長穴の中心で固定されています。)
 ※ブラケットの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

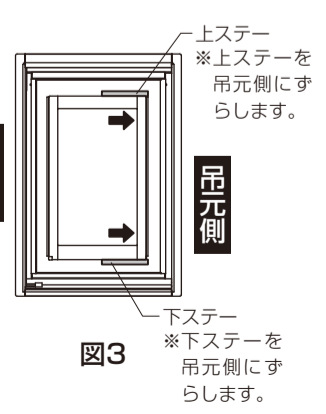


■ハンドルでの障子開けはじめが重い場合
 上・下ステーと下棧のブラケットで調整してください。



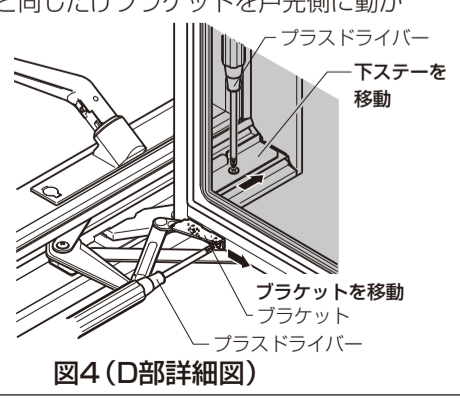
●上下ステーの調整

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。ハンドルでの障子開けはじめが重い場合は、図3のようにステーの位置を調整してください。
 ※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。



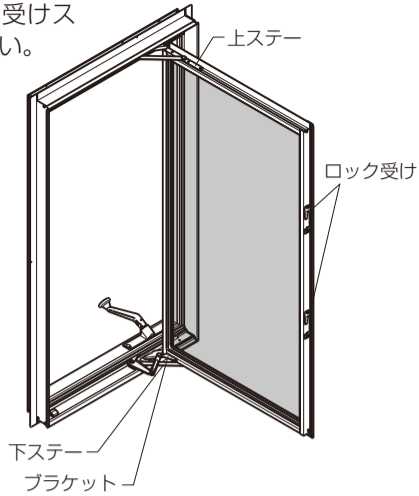
●ブラケットの調整

※下のステーの位置を調整したら必ず、図4のようにブラケットの調整をしてください。
 下ステーを移動したのと同じだけブラケットを戸先側に動かしてください。(下ステーの位置を調整しない場合は、ブラケットの調整も不要です)
 (ブラケットは出荷時は長穴の中心で固定されています。)
 ※ブラケットの固定ねじを一度ゆるめて調整します。



■サブロックの操作が重い場合

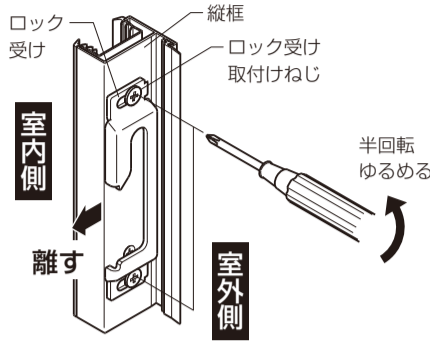
ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



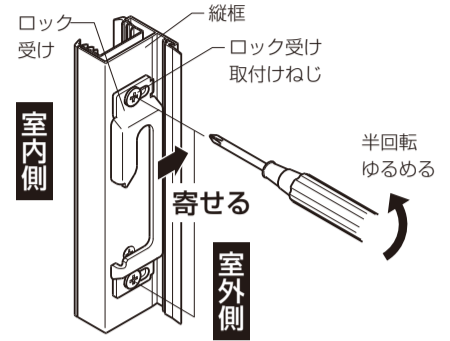
●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
 ※ロック受け取付けねじをゆるめ(上下半回転)、位置を調整してください。
 ※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[サブロックの操作が重い場合]



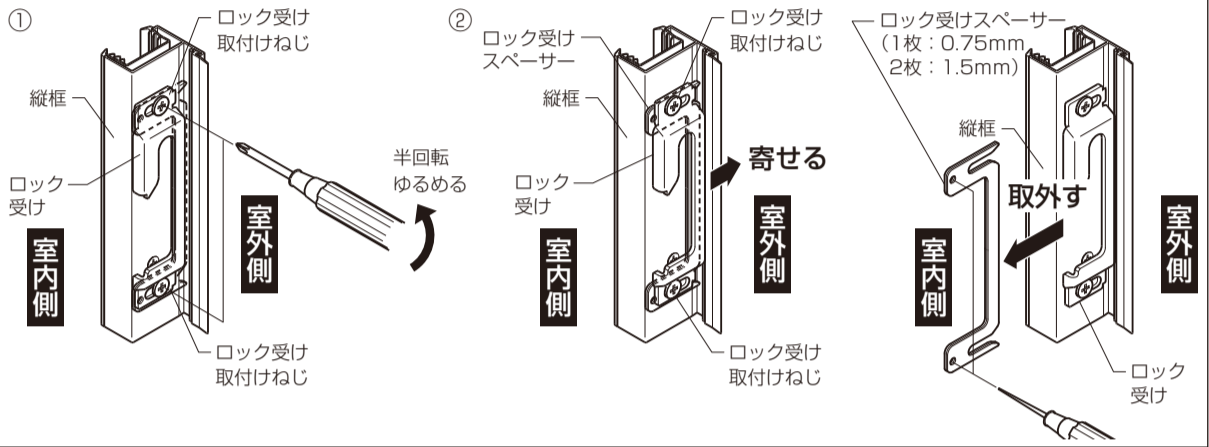
[サブロックの操作が軽い場合]



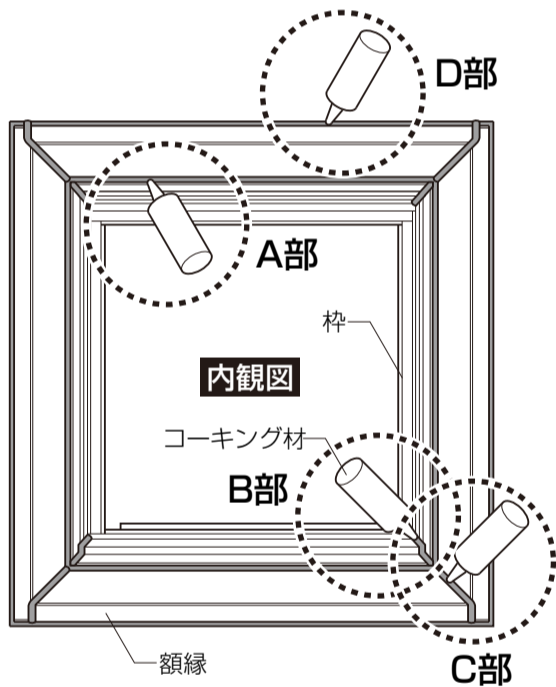
●ロック受けスペーサーの調整

※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。

- ①ロック受け取付けねじをゆるめます。(上下半回転)
 ※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。
 - ②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
 ※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
 ※スペーサーを1枚取外すと0.75mm、2枚外すと1.5mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。
 - ③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。(ロック受けの調整を参照)
- ※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。



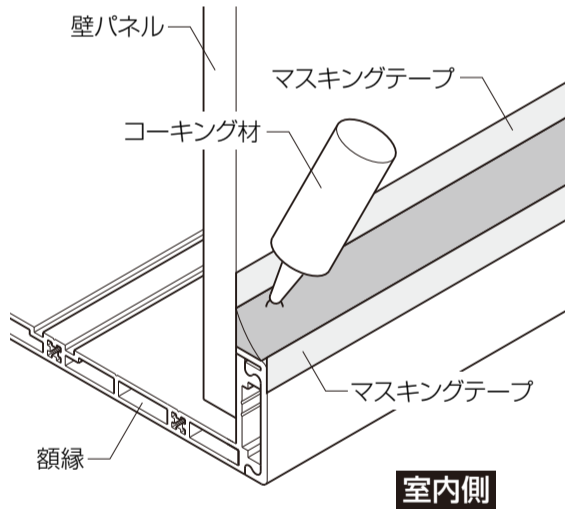
5 サッシまわりのシーリング処理



5 サッシまわりのシーリング処理

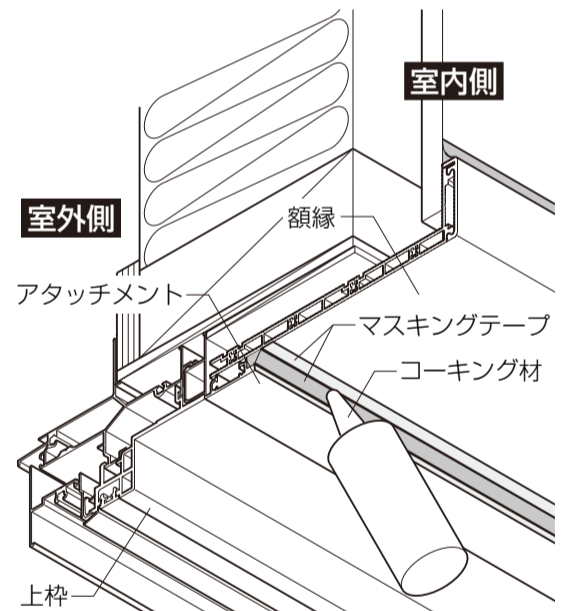
■D部詳細図

- 額縁と壁パネルにマスキングテープを張り、間にコーキング材を充てんします。(上下額縁・縦額縁部の全周)



■A部詳細図

- アタッチメントと額縁にマスキングテープを張り、間にコーキング材を充てんします。(上枠・下枠・縦枠部)

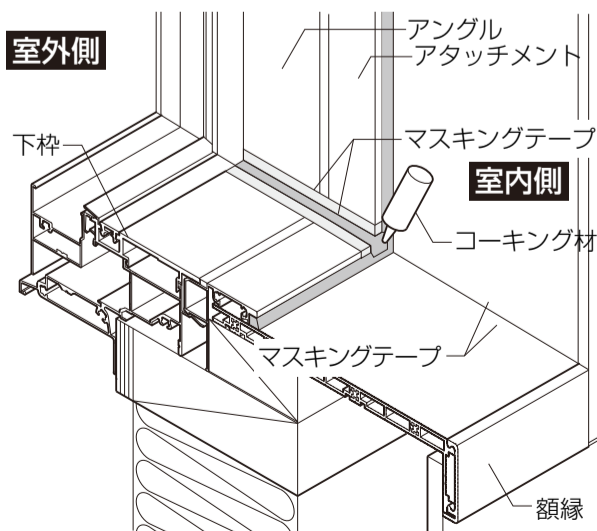


▲注意

- アタッチメント-額縁の取合せ部には、必ずコーキング材でシーリングしてください。漏水の原因になるおそれがあります。
- シーリング処理をするときは、必ず空気が入らないようにコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

■B部詳細図

- アングルとアタッチメントの四隅にマスキングテープを張り、コーキング材を充てんします。



■C部詳細図

- 額縁の四隅にマスキングテープを張り、コーキング材を充てんします。

